

社内木鶏感想用紙

2024 年 3 月 25 日

3 月号

名前

タイトル: 「なにくそ、負けてたまるか」その精神が僕の魂に火をつけた

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

今回選んだ記事は4ページと短いインタビュー特集でしたので、その中で何を読み取れるかを考えながら読んでみました。豊島さんは体にハンディがあり、やりたかった仕事を断念し家業の焼き肉屋の手伝いを始められました。そんな環境でも後ろ向きな事は考えずになにくそ、負けてたまるか。前進あるのみ。と前向きな考えで努力をされてきました。休業日の誰も見てないところで努力されたり、トイレ掃除を毎日する。すべてに関して手を抜かない。自主的にやる。この事を継続されてきました。その後の人生でも色々と苦労がありましたが常に前進あるのみの精神で努力されてきましたが、最近では人事を尽くして天命を待つに考えが変わってきて、すべては神様に任せると考える様になったようです。私の解釈は豊島さんの神様とはお客様の事ではないかと思えます。飲食店が続いていけるのもお客様が決める事。努力をしないとお客様は来店しない。まさにすべてを見ている神様がその人の人生を導いているように思います。このインタビューを読んで自分が少し恥ずかしく思いました。人以上に努力しているか。努力する気持ちはあるか。自分の道を自分で決めている様では成長は無いと思えます。全て豊島さんの真似は出来ませんが参考にして成長していきたいと思いました。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

社内木鶏感想用紙

2024 年 3 月 28 日

3 月号

名前

タイトル: 「なにくそ、負けてたまるか」その精神が僕の魂に火をつけた

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

今回は、日本一有名な焼肉屋、東京のスタミナ苑の豊島様のインタビュー記事を読みました。

2歳の時に事故で右手の指2本を切断してしまい、手が変形していじめられ、中学を出てから包丁を持て

ないとの事で料理人を不採用になったりしたにもかかわらず、その悔しさを糧にして一生懸命努力をして

健常者以上に上手に使えるようになったそうです。ご本人は、一生懸命のその先に一歩進めるか進めない

かで大きな差がでるとおっしゃっています。負けず嫌いには驚かされます。もう一つ感じた事は、人間は

チャンスがあれば、すかさず奪い取れという事と、サービス精神とはお客様を笑顔にし、また来店してもら

う為に常に目を光らせてお客様が何を感じているかを読み取ることが大事であるとおっしゃっています。

まさしく一流営業マンとはこの方だと思いました。また30歳の時に肉の事が解るようになり、40歳で

心の中にあつた少しの手のコンプレックスが無くなったとの事です。孔子の論語の、而立(じりつ)の30、

「30歳で独り立ちをすること」また、不惑の40「40にして迷わず」を体現されていると感じました。

とても前向きになれる記事でした。

②仲間の発表を聞いて気付いたこと

社内木鶏感想用紙

年 月 日

3 月号

名前

タイトル:「なにくそ、負けてたまるか」その精神が僕の魂に火をつけた

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

豊島さんは幼い頃の事故により右手が不自由になり、その事で悲しい言葉を耳にする事もあり

悔しい思いをたくさんされてきています。

誰もがやっている「一所懸命」、豊島さんは一所懸命の先、その先の一步を進むために

人が見ていないところで努力をされてきました。

努力を継続することは容易な事でもないのですがそれを当たり前のように行う豊島さんは

負けん気の強い人だと思います。

負けん気があるからこそ一番の敵である自分に勝てる事ができ、チャンスをつかみお店を繁盛させ

続けていく事ができるのでしょうか。

いろいろな失敗あり、思うようにうまくいかない事もたくさんある日常。

死ぬ気でやれば道はひらける。そういう事を豊島さんから学びました。

2時間待ちは早い方、どんな人でも等しくまって待ってやっと食べる事のできる「スタミナ苑」の

焼肉を食べてみたいです。

社内木鶏感想用紙

2024 年 3 月 28 日

3 月号

名前

タイトル: ソーシャルビジネスで世界を変える

①感じたこと(仕事・人生にどう生かすか 等)

読み進めて行くうちに、お二方には、共通点がいくつかあるなと感じました。

日本だけでなく世界に目を向けSDGsや環境問題への取り組みそしてビジネスと社会貢献を連動されて活動されている事など広い視野で物事を捉え、環境問題に強い危機感を感じて行動されている方達だなと感じました
更家社長は、“世界の衛生・環境・健康に貢献する”を掲げ持続可能な製品を提供することで社会課題への解決を目指し出雲社長は、“人と地球を健康にする”を掲げユーグレナを用いた栄養問題の解決やバイオ燃料事業への挑戦を通じて、環境問題への貢献をされています。

出雲社長の泥臭い事を厭わず何度失敗しても恥をかいても成果を導き出すために研究をやり続けて来られたところや更科社長の変化に対応するスピード感、対話を大切に繰り返し相手に浸透するまで伝える事の大切さ、直面する課題に対して前向きに取り組む姿勢から仕事にも活かせるであろう大切な事を学ばせて頂きました。
持続可能な社会を実現するためには、社会全体での早急な意識変革が必要であり、安全に安心して暮らせる社会にする為に未来の人達に向けて今わたしたちが出来る事、それは、人任せにせず私達一人一人が今始められる身の回りの小さな事から即実践して行く事がとても大切であると感じました。

②仲間の発表を聞いて気付いた事